

平成28年度議会報告会・意見交換会での町民からの意見・要望

地区	担当委員会	意見・要望	答 弁
山北	議運	本会議のインターネット配信への取り組みは。	・インターネット配信については、昨年から検討を始め、検討委員会を立ち上げました。今後、予算・設備・ルール作りを含め、委員会の中で審議し、町行政と協議していく考えです。(議会運営委員長)
三保	総務	人口減少については議会の報告に同感である。最近玄倉地域ではお祭りやどんど焼きも子供会がないことから、自治会でやるようになってしまった。清水小学校が閉校になり、三保小学校だけになってしまった。人口減少はどのように考えているのか。	・人口減少は社会構造的な問題と言えます。合併すれば良いと言う人もいますが、減少幅を縮小すべきとして研究を進めています。現在、町では、山北駅前に集合住宅を建設、さらに東山北駅周辺の住宅再編が検討されています。議会でも支援していく考えです。(総務環境常任委員長)
三保	総務	道志村へ抜ける道については、20年前から行き止まり道路の解消を要望している。10年位前に議会で道志村と交流したことがある。継続的に要望をして小田原甲府線を実現してほしい。	・小田原甲府線については、20年前と比べ、津久井と相模原市の合併、圏央道の開通、リニアモーターの関係等変わってきています。最近は山北より相模原の方を向いているようで、ハードルが高いと感じています。(議長)
三保	総務	SLを動かすことは良い話である。今後、御殿場線に走らせてほしい。	・御殿場線にSLを走らせることも大切ですが、住んでいる皆さんにとっては御殿場線でICカードを使えることが、利便性につながるのではないかと考えています。(議長)
三保	総務	観光に関しては、1市5町の中で山北が一番資源がある。山桜なども素晴らしい。もっと積極的に事業を進めるべきではないか。	・三保地域の活性化については、ハイツ&ヴィラ跡地に時之栖、三保中学校跡に山北学園の誘致、更に県道中川～箒沢間の拡幅も具体化し三保地域の新たな動きとなっています。(総務環境常任委員長)
三保	総務	町内循環バスを、桜まつり、ユースの紅葉など観光面に使えないか。	・循環バスは国土交通省の認可を得ていることから、直ぐに観光対応はできないと思います。今後、町内交通体系の再構築を研究し、町に提案をしていく考えです。(総務環境常任委員長)
三保	総務	現在行き止まりの秦野峠林道等は、今後どうなるのか。	・秦野峠林道は、山北と松田町で、行政・地域・議員の代表で、協議会を結成し、進める予定です。山北町は組織化されており、松田町の体制が整い次第、地元の見解を聞き進めていくこととなります。世附の水の木林道は平成28年度に改修を行うと聞いています。(議長)
清水	総務	人口減少問題を言われたが、山北町の人口は、何人ぐらいが適正と考えているのか。	・国立社会保障・人口問題研究所では、2040年に山北町の人口は約6,700人になるとしています。町は住宅を建てるなど約9,200人の目標をたてました。そして、総務環境常任委員会では、人口減少の原因と課題をまとめ、課題解決の対応策を検討しています。(総務環境常任委員長)
清水	総務	桜まつりの会場で、ホテルの家を尋ねられた。町民にもっとPRが必要。	・ホテルの家(お試し住宅)については、広報やまた4月号に出ているので参考にして下さい。(総務環境常任委員長) お試し住宅は、現在7組の申し込みがあり、11月までうまっている状況と聞いています。(広報広聴委員長)
清水	総務	町の鳥獣被害対策で、駆除や柵の設置など出ているが、根本的な対策として、耕作放棄地の利用を検討するべきでは。	・鳥獣被害対策については検討を重ねてきましたが、さらに検討します。(総務環境常任委員長)
清水	総務	人口減少対策で、交通の便や働く場所の事等、非常に良いが、問題は、この対策をいつまでに、どのように具体化するかだ。対応策をあげるだけではなく議会として、具体的な形までもって行ってほしい。	・ロードマップを示すのは執行権であり、いつまでにとは言えません。今、まとめていることについては、町に提案していく考えです。(総務環境常任委員長)
清水	総務	鳥獣被害対策の食肉としての利用で、神奈川県は静岡に比べ規制が厳しい。大野山で鹿を飼って販売する事に対し、県は難色を示している。町の鹿柵予算は10万円で頭うちだ。町や議会で鳥獣被害の問題について国や県に働きかけるべきだ。	・民間会社が県西部でジビエの工場を作る検討をしています。鳥取県の若桜町への議会視察では、3000頭捕獲してジビエに使用できるのは1割だと聞きました。民間会社は600頭要求していますが結論は出ていません。個別に県猟友会の会長に聞いたところ、600頭は難しいようです。(総務環境常任委員長) ・昨年度から鳥獣被害を人口減少問題に加えて、委員会で議論してきました。鳥取、島根、長野県では、県全体で組織を作りガイドラインを出して指導をしているようです。一步でも先に進めるような方法はとっていきたくないと考えています。(議長)
清水	総務	新東名のスマートICは、現在どうなってるのか。	・平成32年開通予定です。東京方面だけの利用となります。災害時は自衛隊の救援部隊が御殿場方面からも降りられるようになる見込みです。(総務環境常任委員長)
山北	総務	人口減少問題の課題解決として、先端技術・ICT関連企業を誘致するより、山北の強みを生かし、山間部に大学などの誘致を進め、就業を見据えた農林業の生産～加工～販売までの独自産業の確立、雇用促進の施策を進めたほうが人口減少歯止めにつながるのではないか。	・今の若い世代が山北町に定住するには、農林業よりも平山や諸淵など既存の工業団地に加え、先端技術分野、ICTの工場誘致を進めたほうが大学を卒業した優秀な技術者を山北にとどめられる得策だと思い、これまで議論してきました。また、旧三保中学校跡に通信制高校の山北学園を誘致し、地元産業を学ぶカリキュラムもあると聞いています。学校教育を通じて、町内定住につながればと期待しているところです。(総務環境常任委員長)
山北	総務	町や議会の中だけでなく、企業・金融・大学・行政など、各分野のエキスパートを集めた協議会を立ち上げ、御殿場線ICカードの促進・地域活性化施策・人口減少問題に取り組むべきでは。	・他市町の取り組み状況なども参考にしながら、委員会の中で調査し、山北町として最適な方法を考えていく考えです。また、御殿場線の増発問題については、現在も山北町だけではなく、沿線市町の首長等で構成する御殿場線利活用推進協議会が活動しているので、議会としては応援していく考えです。議会はICカード導入促進を図る考えです。(総務環境常任委員長)
山北	総務	御殿場線増便、ICカードの普及は、JR東日本とJR東海の会社間の違い、利用者数が少ないことを考えると根本的に難しいのではないか。	・御殿場線の問題については、できないから諦めるのではなく、広域で活動し、提言し続けることが必要だと考えています。現在、御殿場～沼津間は無人駅でも、ICカード形改札機があります。ハードルは高いかもしれませんが、今後もJR東海へは継続して働きかけていきます。(総務環境常任委員長)

地区	担当委員会	意見・要望	答 弁
山北	総務	数年前から町内にオリーブ栽培を進めているが、進捗状況は。またオリーブは成長に時間がかかる。その他に山北の特産品を生み出す取り組みは考えているか。	・オリーブ栽培は今年で3年目を迎えます。5年間で400本を植樹していく計画で、オリーブの実がなり、オイルなどの製品化ができる5年後を目処に、町内だけではなく他市町、農協を交えた協議会を立ち上げ、進めると聞いています。今後、高齢化が進んでいく中で、今新たな特産品を生み出す取り組みよりも、休耕地を利用し、60～65歳からの新たな農林業の担い手づくりが重要であると考えています。(議長)
山北	総務	資料の中に「観光」の文字がひとつもない。町の活性化・魅力ある町作りを進める上では、他から山北町へ来ていただくことが大事ではないか。町に魅力があれば若い世代が流出しないと思うが。	・定住人口を増やすには、まず観光を切り口に交流人口を増やしていく必要があると思っています。今後、山北スマートIC開設に伴う丹沢湖周辺エリアの活性化、南箱道路の開通に伴う回遊ルート等、今後も魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。(議長)
共和	総務	交通の再構築とは何か。金銭的な支援も含めて再構築の中身を問う。	・町には町内循環バス、福祉タクシー、スクールバス等いくつかの交通手段がありますが、それぞれの特徴を生かしながら、相互利用が出来ないかと考えています。(議長)
共和	総務	交通対策として、御殿場線の本数を増やす、最終電車の時間を延ばすなど具体的に検討したか。	・御殿場線の増強は、御殿場線利活用推進協議会が活動しており、議会としても応援しています。引き続き要望していかなければならないと考えていますが、委員会としては、今年度はICカードに重点を置き検討してきました。(総務環境常任委員長)
共和	総務	共和地区では、若者が地域で稼ぐことができ、定住し、子育ての出来る環境を創りたいと頑張っている。そこで、地域にお金が入るようにと知恵を絞り、工夫をしながら、折衝や視察もしてきた。また、山で稼げるようにと本格的に、苗木の育成に取り組み成果も現れ始めている。このような活動に、議会も町も応援をしてほしい。	・先進的で、素晴らしい取り組みだと思います。議会も何が出来るか検討していきたいと思います。(総務環境常任委員長) ・団塊の世代が後期高齢者になるこの9年がかギであり、前期の5年で、答えを出さなければいけません。田園回帰の仕組みを作り、Uターン、Iターン、孫ターンしていただき、地域として成り立つよう、住民、町、議会が力を合わせ子育て出来る環境づくりをしていかなければならないと考えています。(議長)
岸	総務	マイナンバー登録をしたが、情報漏えいが心配だ。職員の対応を懸念する。	・想定外の外部侵入のセキュリティ対策については、町レベルで対応出来る問題ではありません。それ以外のセキュリティ対策については、マイナンバーは、単独回線に対応しており、静脈認証等で対策はとられています。(議長)
岸	総務	人口減少対策・高齢者への対策と沢山出たが、優先順位をつけて、今年はこれだとアピールした方がよい。ただ提案するだけになる。スピード感もないのではないか。	・議会として、課題を1年かけて抽出しました。どれからやるのかを決めるのは執行者である町ですが、対応策を町に提案していきます。(総務環境常任委員長) ・スピード感を持つべきだと思いますが、28年度は、みなさんのご意見もいただいて精査して絞り込む考えです。(議長)
岸	総務	小田原・南足柄の2市が合併協議会を立ち上げると説明を聞いたがどうなるのか。	・上郡5町は、2市の動きをしっかりとみて、足なみをそろえてじっくりと考えていくことが大事と考えています。(議長)
向原	総務	山北は鉄道の町だったので、鉄道の博物館をつくるとか、御殿場線にSLを走らせるとかしてお客さんと呼ぶ。ランニングに来る人たちもいるので、鉄道とタイアップする事を考えたかどうか。河村城址や大野山も上まで誘導できるように整備して観光客を増やすことに結び付けたらどうか。	・御殿場線にSLを走らせる話は出ています。博物館までいきませんが、展示は町でも考えています。(広報広聴委員長)
向原	総務	子育て支援が他の市町村と比べ、どれ位充実しているか教えてください。	・子育て支援センターは、町内の方をはじめ、南足柄市、秦野市など他市町の方々にも利用されています。医療費については、中学卒業まで無料です。保育料についても、第2子から半額になります。他に子供の一時預かりサービス等があります。(総務環境常任委員長)
三保	福祉	最近開催した還暦の会は良い話題だ。山北の元気の元になるのではないか。	・還暦の会は、今一度ふるさとを見直し「ふるさと回帰」が目的です。中学同窓生240人の内80名が参加しました。来年も開催する予定です。(議長)
三保	福祉	子育てを考えて、三保地域を出て行く方がいる。三保小は生徒21名で、先生も地域もみんなで頑張って、子どもを育てている。これ以上三保地域から人が出て行かないよう、議会でも三保地域のことを考えて欲しい。	・議員は三保・清水・共和に目を向け議論をしています。一つの例になりますが、神奈川県で未病をテーマとしていることから、小田原などの自転車関係者と連携を取り、サイクリングステーションをこの地にも誘導しようとしている議員もいます。小さいことを少しずつ展開していくことが発展につながっていくと考えています。(議長)
清水	福祉	わかば保育園と山北幼稚園が認定こども園になる。文科省と厚生省で担当も違いカリキュラムも違うがどういう形でやるのか教えていただきたい。	・わかば保育園と山北幼稚園の両方を使った認定こども園とする事になります。(福祉教育委員長)
山北	福祉	福祉教育常任委員会では、スポーツや野菜・花の栽培を通じて、高齢者が元気になると想定しているが、遊びや楽しみの分野だけではなく、働く場所を提供したほうが高齢者は元気と生きがいが見つけられるのではないか。	・高齢者が生きがいを持って生活するには、働くことが一番であることは認識しています。ただ、単独で働くだけでなく、働く環境や仲間を作る意味でも、行政や議会ではない元気づくり推進協議会のような地域コミュニティで、働き場を増やす取り組みを進めることが、高齢者の元気と生きがいにつながると考えています。(福祉教育常任委員長)
共和	福祉	地域で安心して住める医療体制の充実を。	・国も在宅医療・介護にシフトしており、1市5町の枠組みの中で在宅介護を進めています。大事なことなので、福祉教育常任委員会に取り上げ、研究していきたいと思っています。(福祉教育常任委員長)
岸	福祉	人口減少の中で子育て環境は、良いと報告されているが、進学のことを考えると充分とはいえない。子育て環境について子供の教育も考えないと、皆山北町から逃げていく。良い教育をしていれば山北町でじっくり育てる気になると思う。小学校中期からの学力アップを町民として考えていく必要があるのではないか。子供のレベルアップは、町民のレベルアップにと議会から働きかけをすべきだ。	・人口減少の課題で、委員会内議論で大手学習塾がないという課題も出てきています。委員会で次のテーマとして考えていきたいと思っています。(総務環境常任委員長) ・学力向上は、以前に福祉教育委員会で行った調査で、学力テストの結果を学校単位で公開すべきと提言しています。危機感を持っている人ともっていない人と様々です。公開してはならないと国で決まっているわけではないと思います。以前から学力向上については、議論しています。(福祉教育常任委員長)
岸	福祉	未病・いやしの里の具体的な例はあるのか。	・大井町のブルックスコーヒーに未病いやしの里センターができています。町内では小田原百貨店内等に関連のコーナーがあり、サイクルステーションも山北駅や道の駅にできています。(議長)

地区	担当委員会	意見・要望	答 弁
向原	福祉	元気づくり推進協議会設置の促進について、3つの実行委員会のメンバー構成は、議員だけでやるのか、公募して町民でやるのか。	・元気づくり推進協議会は、6地区に設置していただき、その中に作業部会としての実行委員会を作るよう考えています。これを行政に提案して、行政、議会、地域と話し合い促進する考えです。(福祉教育常任委員長)
向原	福祉	去年この報告会で、国民健康保険の医療費の受益者負担を多くせざるをえないと、説明を受けた。上がった分助成を、議会が考えてくれるのか。	・基本的には受益者負担です。(議長)
向原	福祉	在宅医療を進めると家族の介護負担が増える。特に老々介護の考え方を示して欲しい。	・在宅介護については、課題が多くあります。これから検討していくので、皆さんのご意見を頂きたいと思えます。(福祉教育常任委員長)
向原	福祉	高齢者の生きがいづくり実行委員会 観光客や地域住民との交流とあるが、どういうことをやっていくのか聞きたい。	・休耕地に花や、野菜を作り、景観を良くして観光客を集め、山北町の活性化につなげていく考えです。(福祉教育常任委員長)

町へ伝達する事項

清水		清水地域では、鉄砲より罾の方が捕れる。防護柵より元を絶つ考えが大事。各地域でもっと罾の免許を取るよう、町で罾の免許取得補助を考えて欲しい。また町で罾の機材を買って、貸与するなどを考えてもらいたい。	・意見のあったことを町に伝えます。(広報広聴委員長)
共和		道が狭く救急車が庭先まで入れない。車がUターン出来る場所の表示を。	・救急車の入れないところは至る所にあります。救急車はGPSナビでくるので間違えることはないと思います。その提案は難しいと思いますが、町に伝えることにいたします。(総務環境常任委員長)
岸		山歩きが好きだが西丹沢にはヤマビルがいるので、行かないと友人が言う。対策はとれているのか。安心ならばPRしたほうが良いのでは。西丹沢への登山者も増すのではないか。	・安心だとは言えませんので、PRできない状況です。観光客への直接の被害はないと聞いています。(議長)
岸		岸幼稚園が防災マップに1次避難所になっていたが、今回の新しいマップにはない。幼稚園建設の際には防災の避難所になるといついたのに、はずしたのはなぜか。	・岸幼稚園については、町にご意見のあったことを伝えます。(総務環境常任委員長)
岸		酒匂川／岩流瀬の護岸工事の土手を伝ってシカが侵入するので、木等を伐採して見通しを良くして侵入しないよう対策してほしい。	・調査等を町に提案いたします。(議長)
向原		自治会では、要望書を4月からまとめ5月に町に出す。1次回答が12月、2次回答が3月末に出る。3月は自治会総会が終わっているから、年度をまたぐ。3月の議会で承認されなければいけない今のシステムでは、うまく自治会がまわらない。緊急度とか小さなものはスピーディにできないか。要望書でお金がかかるものは、議会にかかるのか。	・自治会長研修で説明があったが、平成28年5月に出す自治会要望書は平成29年度の要望です。従って29年度予算に計上されるので29年3月議会にかけられます。お金がかからない軽微なものは、今ある予算の中で出来ると思いますが、お金がかかるものは、来年度予算にあげなければ執行できません。どうしても必要なものであれば臨時議会を開き、補正予算を組むなどできますので予備費等を使ったりして行っています。そのような働きかけを自治会から町にしてください。(総務環境常任委員長)